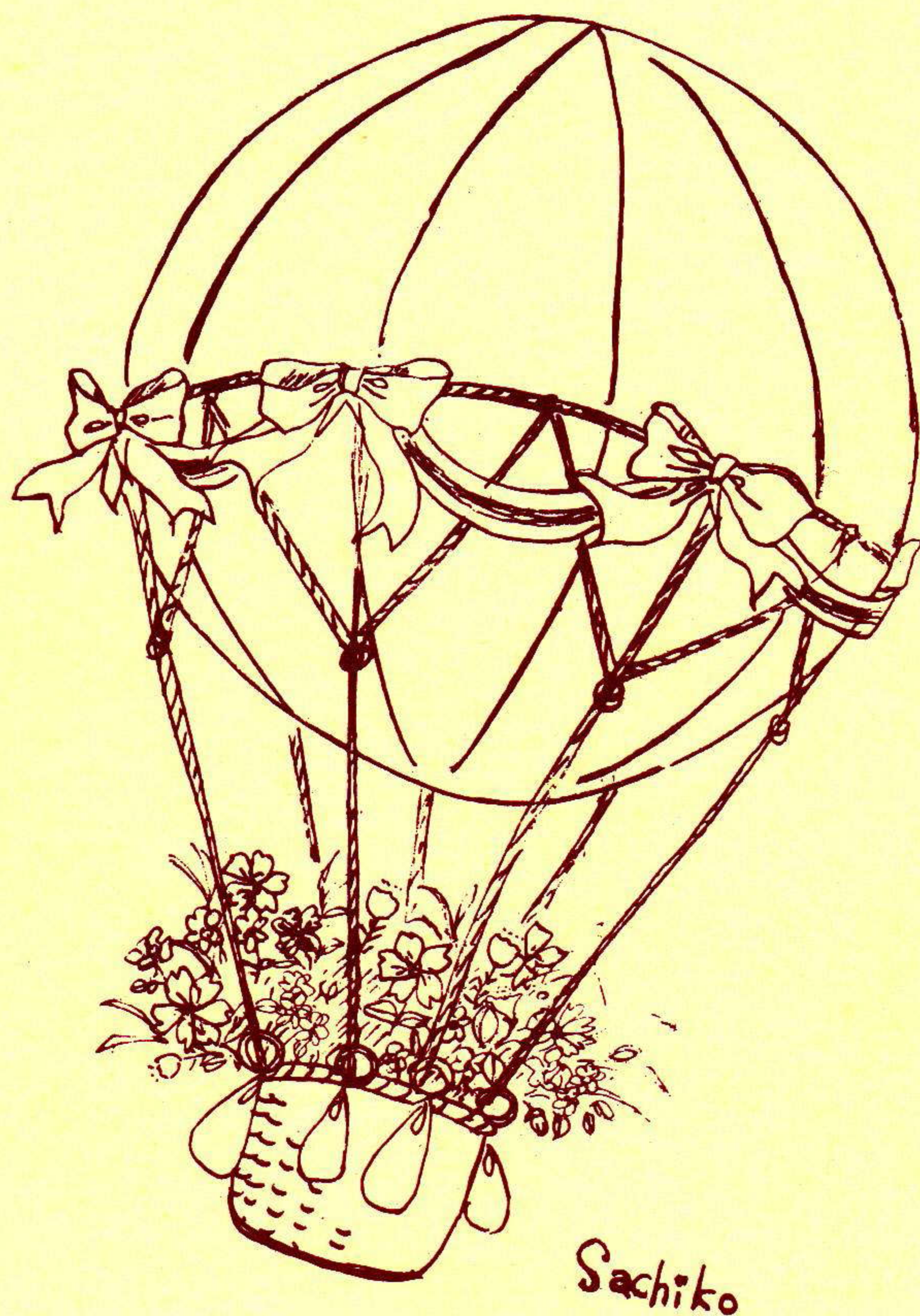


3つの Fantasy



—心のハーモニーを
あなたに—

主催 大阪女学院短期大学
ウヰルミナフラウエンコール
帝塚山学院大学コール・ユニ
大阪外国語大学グリークラブ

後援 大阪府合唱連盟
大阪四大学合唱連合

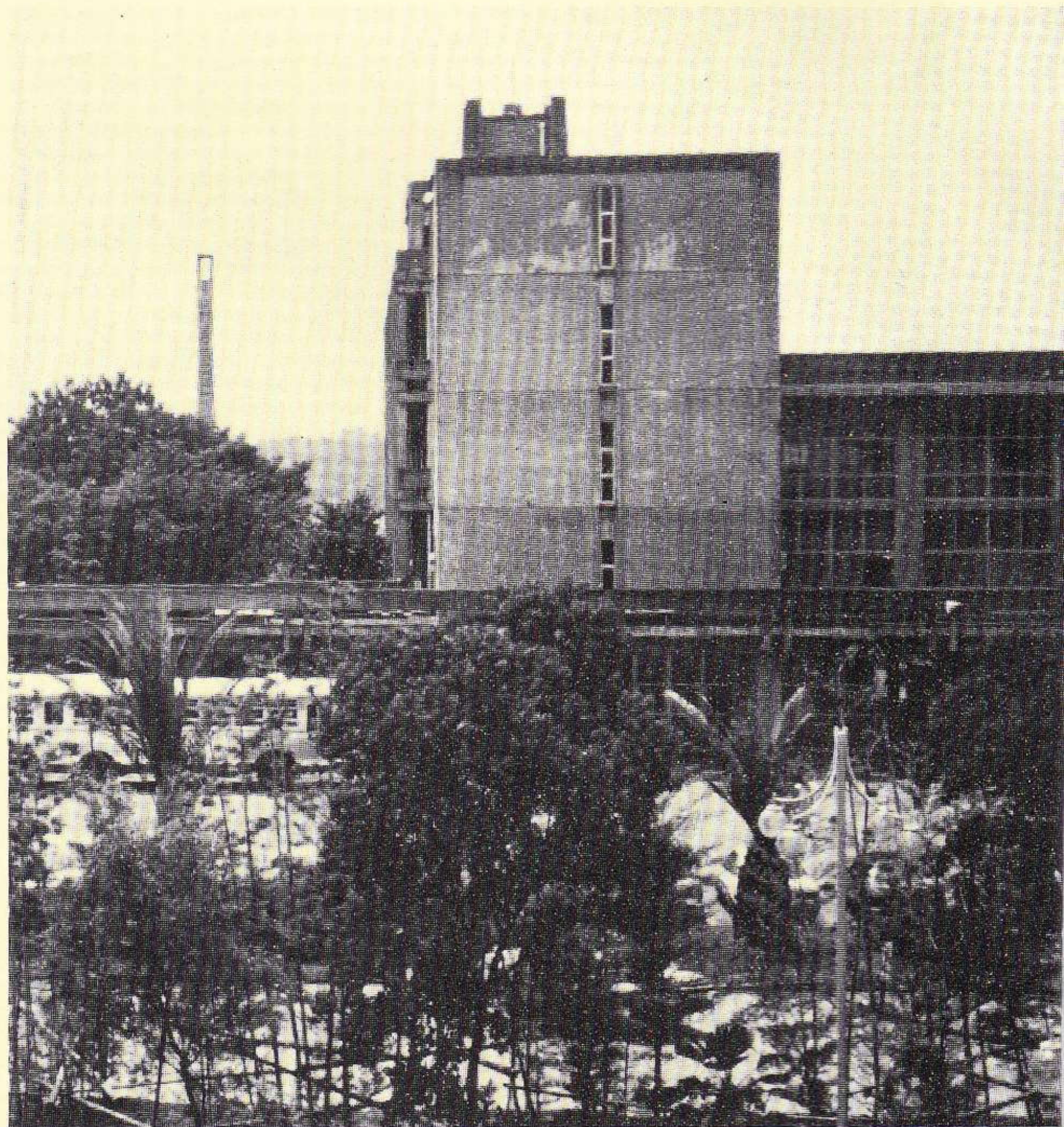


大阪女学院校歌

生駒の山を 東にのぞみ
浪華の海を 西にして
古きえのきの 茂れる丘に
朝日を受けて そびえ立つ
我々の大阪女学院
我々の大阪女学院

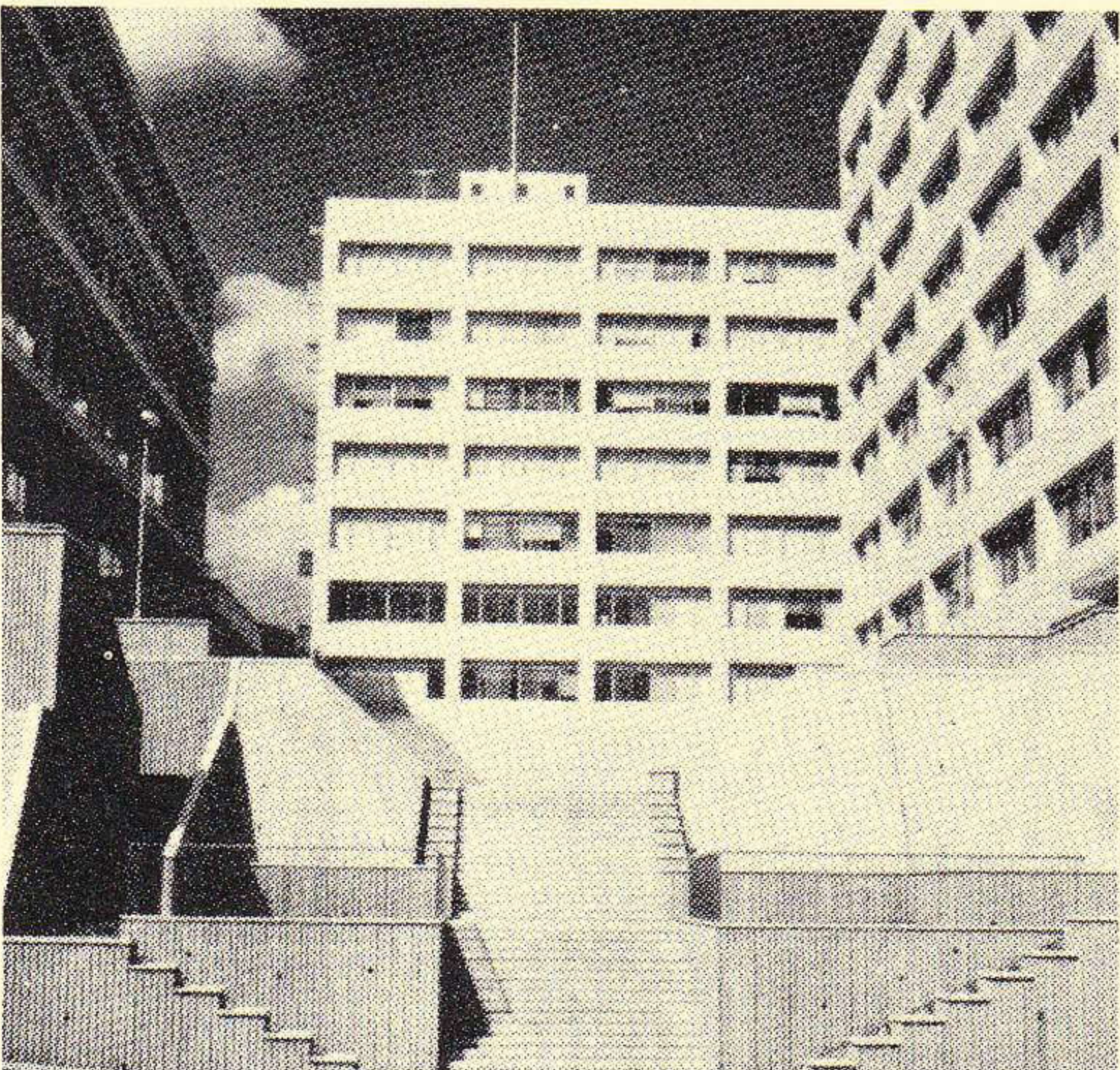
帝塚山学院歌

のびやまぬ みやこ難波津
昨日の丘 けふの八ちまた
ゆくりかに さまこそかはれ
ここの地を よしと定めて
学び舎の 基石置きし
そのかみの 人は活きたり
栄えあれや 帝塚の山の
名に負へる われらの学院



大阪外国語大学学生歌

Gaigo will shine tonight	Varsity
Gaigo will shine!	Varsity! Varsity!
Gaigo will shine tonight	Osaka Gaikokugo Daigaku!
all down the line!	Praise to thee we sing,
Gaigo will shine tonight	Praise to thee our alma mater
Don't they look fine!	U. Rah Rah!
When the sun goes down	Osaka Gaidai!
and the moon comes up	
Gaigo will shine,	
Gaigo will shine!	



メッセージ



ごあいさつ

本日は御多忙のところ御来場下さいまして、誠にありがとうございます。

合同練習が開始された頃「休日がなくなって、しんどい。」と不満顔だった新入生も、本番が近くなるにつれて真剣になり、ついに今宵「3つのFantasy—心のハーモニーをあなたに」と題して、3大学のジョイントコンサートをお届けすることになりました。

考えてみますと、大阪北部(外大)の底なしの暗さ、中部(大阪女学院短大)の中庸、南部(帝塚山学院大)の底抜けの明るさが集まっているわけです。この、それぞれの個性(?)が、合同演奏曲「蔵王」の中でどのような「心のハーモニー」を創り出すでしょうか。御自身の耳でお楽しみになって下さい。最後になりましたが、このコンサートを開くにあたり、御指導、御協力下さいました皆様方に厚く御礼申し上げます。

また新たな組合せ誕生！

関西合唱連盟理事長・音楽評論家
日下部吉彦

私が勤めている朝日放送の解説委員室には、3人のアルバイトのお嬢さんがいますが、そのうちの2人が帝塚山学院大学の学生です。2人とも、とても明るく可愛いお嬢さんで、年輩ぞろいの解説委員室に、若々しく華やいだ空気を漂わせてくれるので、本当に助かります。仕事もキチンとやってくれますが、それ以上に彼女らの興味の対象は、社内にウヨウヨしている若い独身男性社員にあるらしく、いつもその種のウワサ話をしているようです。おかげで、私どもは、絶えず口惜しい思いをしているのですが、それもやむを得ないことでしょう。その帝塚山の合唱団コールユニが、若くてピチピチしている外大グリーとジョイントをやるとのこと。これまたシャクのタネ。おまけに、大阪女学院短大まで誘い込んでのジョイント。両手に花の外大グリーのうれしそうな顔が見えるようです。願わくは、“三角関係”にならぬよう、仲よくして下さい。いい意味でのライバルは大賛成ですが、この秋誕生した、新たなジョイント組合せが、成功することを祈っています。

大阪女学院短期大学ウエルミナフラウエンコール 大阪府合唱連盟顧問・桜井吉明

今夕のジョイントコンサートおめでとうございます。

この三大学のグループが顔を揃えるのは初めてのことだと思います。どういういきさつがあったのか知りませんが、なにはともあれ創めるということは、たいへんなことです。私の知っている限りではどのグループも大合唱団ではなく、小編成のコーラスだと聞いています。いろいろな意味で力は弱いでしょう。

しかし、三つが集まって一つではできない可能性を探ることも又楽しいことだと思います。それがファンタスティックであればある程、素晴らしいですね。

「Joint Concert

三つのファンタジー」

盛会を祈ります。拍手。

プログラム



エール交換

I STABAT MATER

Stabat Mater Dolorosa

Quae Moerebat

Vidit Suum Dulcem Natum

Tui Nati Vulnerati

Juxta Crucem

Quando Corpus Morietur and Amen

作曲 Alessandro
Scarlatti

指揮 藤井豊史

伴奏 城福千春
(大阪女学院短期大学
ウエルミナフラウエンコール)

II 女声合唱組曲「ふたりだけの展覧会」

小さな展覧会

読みかけのページ

雨の夜のファンタジー

だれかしら

花屋のウィンド

作詩 中村千栄子

作曲 平野淳一

指揮 松井道子

伴奏 森実賀津子

(帝塚山学院大学コール・ユニ)



プログラム

III 男声合唱組曲「月光とピエロ」

月 夜

秋のピエロ

ピエロ

ピエロの嘆き

月光とピエロとピエレットの唐草模様

作詞 堀口 大 学

作曲 清 水 脩

指揮 秋 本 仁

(大阪外大グリークラブ)

IV 混声合唱のための組曲「蔵 王」

蔵王讃歌

どっこ沼

雪むすめ

吹 雪

樹 氷 林

早 春

作詞 尾崎礎瑛子

作曲 佐 藤 眞

指揮 石 原 守

伴奏 森実賀津子

(合同ステージ)

曲目解説



「STABAT MATER」

アレッサンドロ・スカラッティは、ナポリ派の歌劇の開拓者として有名である。すなわち、17世紀前半のヴェネツィアを中心とした歌劇活動に対して、新たに南イタリアの民俗音楽を基礎にしたベル・カント様式のアリアによる華麗な歌劇を作った。また和音に於けるナポリ6度の使用、序曲に於ける急・緩・急の形式の創始なども、スカラッティの業績である。彼の作品は歌劇が非常に多いが、その他宗教音楽、独唱カンカータを含む世界的歌曲などがある。主なものは、このスターバト・マーテルの他、独唱カンカータ「すみれ」同じく「ガンジス川に日はのぼり」合唱曲で「エクスルターテ・デオ」等である。

このスターバト・マーテルは、スカラッティの晩年の作品で、貴族をメンバーとするマリア崇拜の集りであるナポリの宗教結社“嘆きの聖処女騎士団„cavalieri della vergine dei doloriの依頼により作曲された。本来、20もの詩節を持つテキストに作曲するのであるから、各声部のソロ・合唱・オーケストラといった大規模な編成が当然であるが、種々の制約により、彼はソプラノ・コントラルトのソロ及び弦楽合奏のみの新しいスタイルを採った。そのことが、かえって黙想的、抒情的なテキストに合った禁欲的な美しさを醸し出しているように思われる。この作品の底に流れる根本的な主題は、主イエス・キリストの十字架の許に、ひっそりとたたずむ聖母マリアの心の痛みと悲嘆の表現である。全曲いたるところに見られる半音階的旋律進行と和声は、嘆きと悲しみ、怖れと不安の気分を見事に表現しているのみならず、未だ定かではない救いへの憧れさえ、その奥に隠しているように思われるのである。

今宵は、全18曲中6曲を抜粋し、女声合唱とソロ、それにピアノ伴奏で演奏する。

女声合唱組曲「ふたりだけの展覧会」

若い女性の書いた日記、どこにでもありそうな日記の数ページがこの女声合唱組曲「ふたりだけの展覧会」です。

この曲は、5曲から成り、1曲目「小さな展覧会」は、淡い思い出のページ、組曲全体の導入の意味を持っています。2曲目「読みかけのページ」、3曲目「雨の夜のファンタジー」は、リズム感のある明るいとてもしあわせな音楽です。4曲目「だれかしら」は、今までとは異なって胸の底からこみあげてくる悲しみを切々とうったえかけ、終曲「花屋のウインド」は、さわやかな期待に満ちた楽想で出来ています。

小さな展覧会

ふたりだけの思い出

はじめて会った日の

ミルクセーキの泡立ち

たがいの胸に描いてる

印象的な小さな絵

小さな展覧会

うつむいてる思い出

結婚式の日の

ウェディングケーキの白い

ふるえる胸に描いてる

あまいタッチの小さな絵



曲目解説

男声合唱組曲「月光とピエロ」

「月光とピエロ」は堀口大学の詩によった五曲からなる組曲で、哀愁、悲劇的な情熱、青年の誰もが一度は抱く一種の虚無感、現実に対する絶望感、自棄的な冷笑がにじみ出ており、都会人のペーソスとメランコリーを歌っていると言われている。

“月夜” 月夜に一人淋しく佇むピエロ。いつも滑稽な仕種で人を笑わせているピエロが、たった一人になった時にひしひしと感じる孤独感。あまりの淋しさに、ピエロは思わず涙を流す。静かな旋律でこの組曲が始まる。

“秋のピエロ” 孤独なピエロには秋の淋しさがしみじみと感じ取られる。それでも笑わなければならないピエロ、おどけながら泣き笑いしているピエロ。

“ピエロ” 白粉で真白けのピエロの顔。月光に照らされて明るく見える顔。しかし何とその顔の悲しげなことであろうか……。

“ピエロの嘆き” 美しい旋律とハーモニーで歌われるこの曲は、ピエロの深い嘆きを静かにあらわし、聴く人の心を動かす。

“月光とピエロとピエレットの唐草模様” 月光の中で歌い踊るピエロとピエレットの生き生きした姿。ピエロ、ピエレットという伴奏の上を美しい旋律が流れ、終曲に相応しく、この組曲を最高潮に盛り上げていく。

混声合唱のための組曲「蔵王」

「蔵王」は名曲です。

合唱曲、特にこの曲のように叙景詩についた曲を歌うのは、たとえば一個の林檎を写生するのに似ています。聴衆はその写生画だけを見るわけです。絵の林檎をいかに本物どおりにみずみずしく、おいしそうに見せるかが、合唱の成功・失敗ということになるでしょう。時にはしなびた林檎や紙でできたにせの林檎を必死に写生していることもあります。

でも“蔵王”は、よく熟れたもぎたての、見る角度によって微妙な色合いの違いを見せる林檎です。これまでに、たくさんの人たちがこの林檎を写生してきました。誰がやっても一応は一目で林檎とわかるような絵になるのです。それでいて、その微妙な色合いを写して本当においしそうに見せるのは難しい。他方では、うまく描けばおいしく見せる方法は何通りでもある。

だから“蔵王”は名曲なのです。

聴衆の皆様に、少しでもみずみずしいおいしそうな林檎を味わっていただきたい、これが私たちの願いです。

今宵は組曲“蔵王”の中から、Ⅰ蔵王讃歌・Ⅳどっこ沼・Ⅵ雪むすめ・Ⅶ吹雪・Ⅷ樹氷林・Ⅸ早春の6曲をお送りします。

大阪女学院短大ウエルミナフラウエンコール



みなさん、こんばんは！あなたに愛と夢をお届けする天使の歌声、ウエルミナ・フラウエン・コールです。我がクラブが誕生したのは今を去ること4年前の1977年春。学生の奉仕であった聖歌隊がクラブに昇格したのが始まりです。それ以来、短大の殺人的(!!)に忙しい学業の合間を縫って、ただ歌一筋に今日まで歩んで参りました。いかにもミッションスクールのコーラス部らしい、清楚で可憐な乙女達の集まりであります。

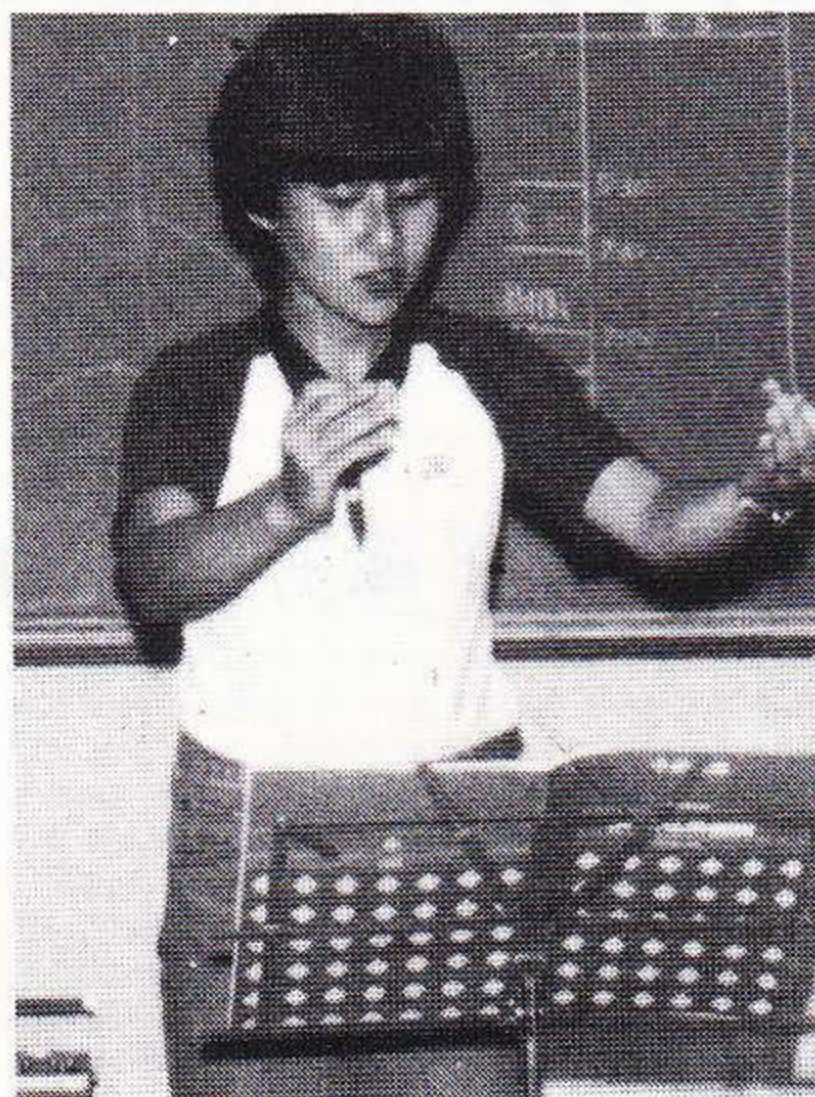
いや、しかし、正確に申し上げるならありましたと言うべきかもしれません。なぜなら最近私達は変わりつつあるからです。外見こそ讃美歌などを小脇に携え、学校の行事などで歌の奉仕をする“愛と奉仕の”クラブなのですが、その実体は……授業を公然と自主休講し、隣の教室で HighC の奇声を発していた某部員、歯に衣着せぬ言い方で「あの人怖い……。カミソリが飛んできそう」と外大の指揮者I氏を怯えさせたS女史、寒いからと、ロングスカートの下にトレパンをはいて、クリスマス礼拝で歌った2年生等々……最近の私達は、とても清楚で可憐とは言い難い集団となりつつあります。しかし、歌を愛し、コーラスを愛する心だけは、やはり少しも変わってはいないのです。

さて、そんな私達が今宵外大グリー、帝塚山学院大コール・ユニの皆さんと共に醸し出す心のハーモニー、どうかごゆっくり御鑑賞下さいますようお願い申し上げます。



(指揮者) 藤井 豊 史

阪大男声合唱団の指揮者、技術委員長を歴任し、その後我が部のコーチに就任。技術面は勿論、あらゆる面(!?)に於て献身的に指導をして下さっている。阪大大学院在学中。



(学生指揮者) 伊藤 尚 子

以前は音楽と言えば演歌専門だった彼女であるが、指揮者になってからは、ぐっとそのレパートリーを広げたようである。現在、大阪女学院短期大学英語科2年に在学中。

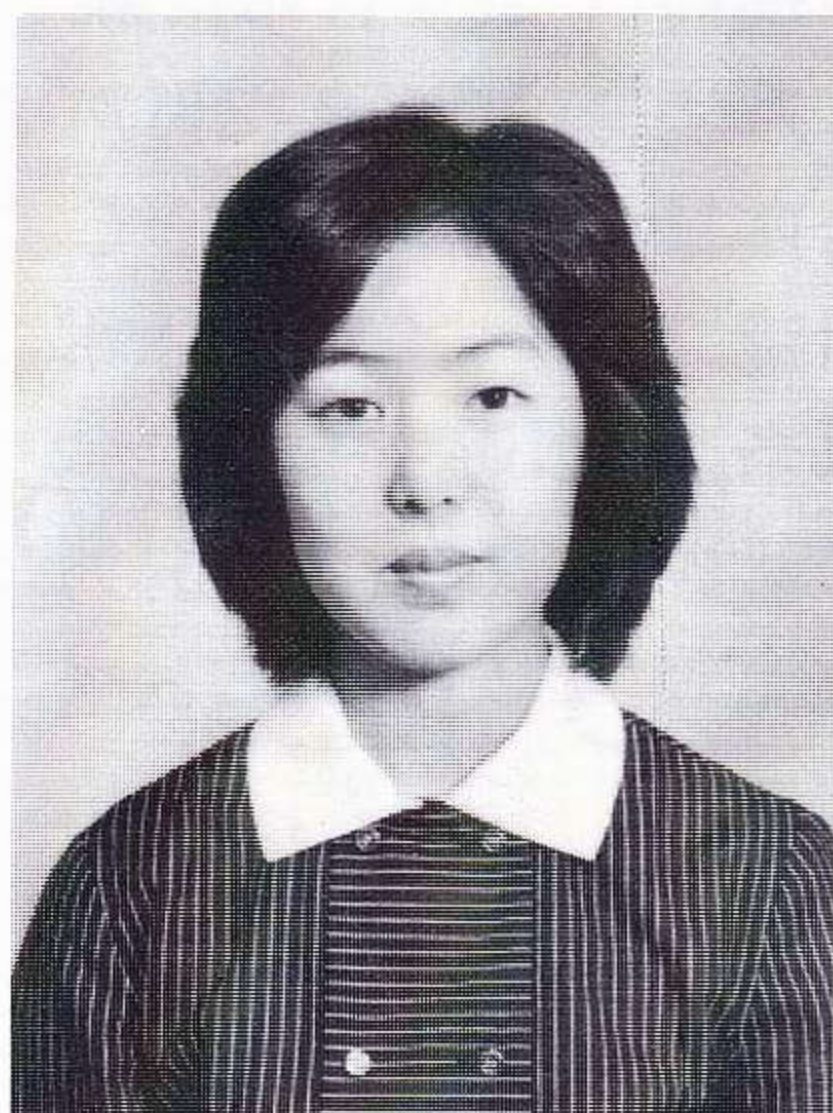
帝塚山学院大学コール・ユニ



まわりは、もうすっかり秋色に染まっています。今宵、大阪外国語大学グリークラブ、大阪女学院短期大学ウエルミナフラウエンコールの皆様と共にステージを踏めますことを心からうれしく思っております。

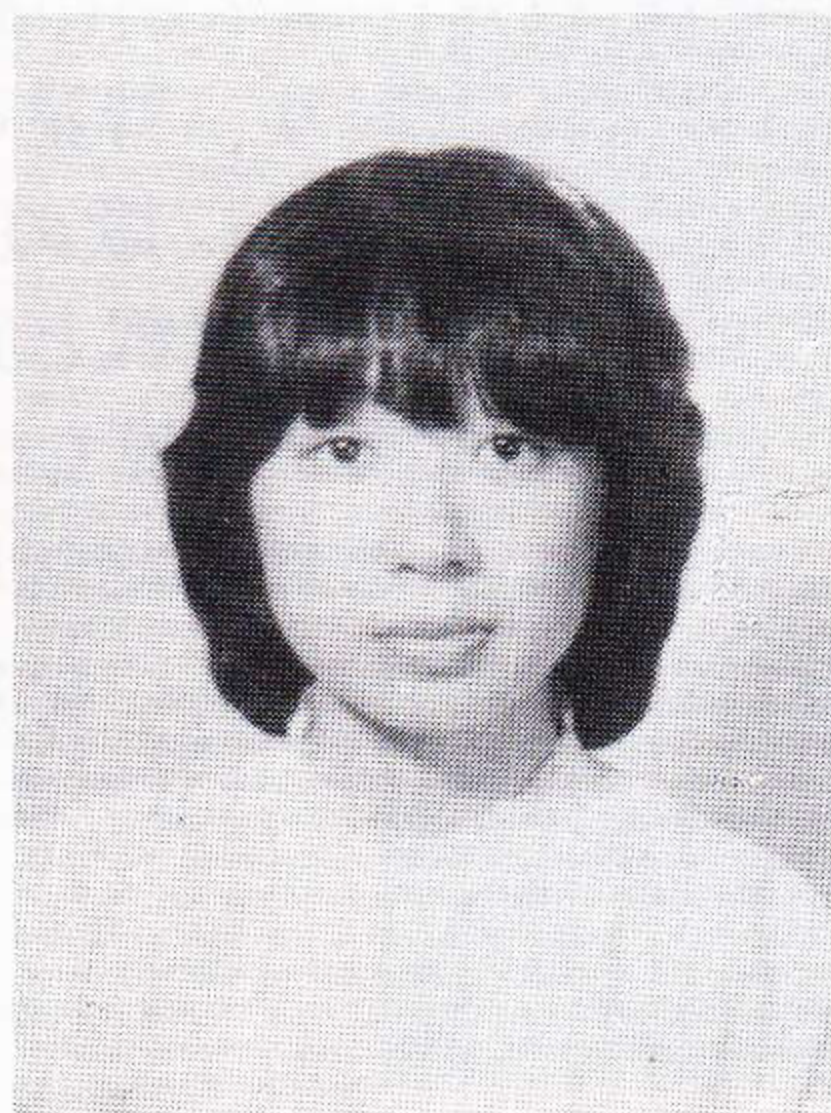
今年は、新入生勧誘から始まり合ハイ、合コンを雨あられのごとくあび、オバン組も厚化粧、若作りに励んだものです。練習中は指揮者の憤りと笑顔を交互に受け、しばしば愛のムチがとんできたりしたものでした。このようにしてバタバタと月日は流れ、今日という日を迎えました。私達にとっては初めてのジョイントコンサート。何とか成功させようと皆の心の中は期待と不安で一杯です。毎年部員は入れ替わりますが、歌に対する情熱は、今も昔も変わることはありません。私達は、先輩方より受け継がれてきた「純白のイメージ」を守りつつ一步一步前進していきたいと思っています。

さあ、もうすぐ幕が上がります。今宵のひととき、私達の歌声とともにどうか最後までごゆっくりお聞き下さいませ。



(指揮者) 松井道子

彼女が指揮台の前に立ったその時から彼女の世界がはじまり、ソフトな手つきで指揮する姿に部員は、彼女の音楽の世界へと引き込まれるのです。



(伴奏者) 森実賀津子

「鼻息でピアノをひく」ということで有名になった彼女もユニの伴奏者でもあり、今宵の合同ステージの伴奏者でもあるのです。



大阪外国語大学グリーンクラブ



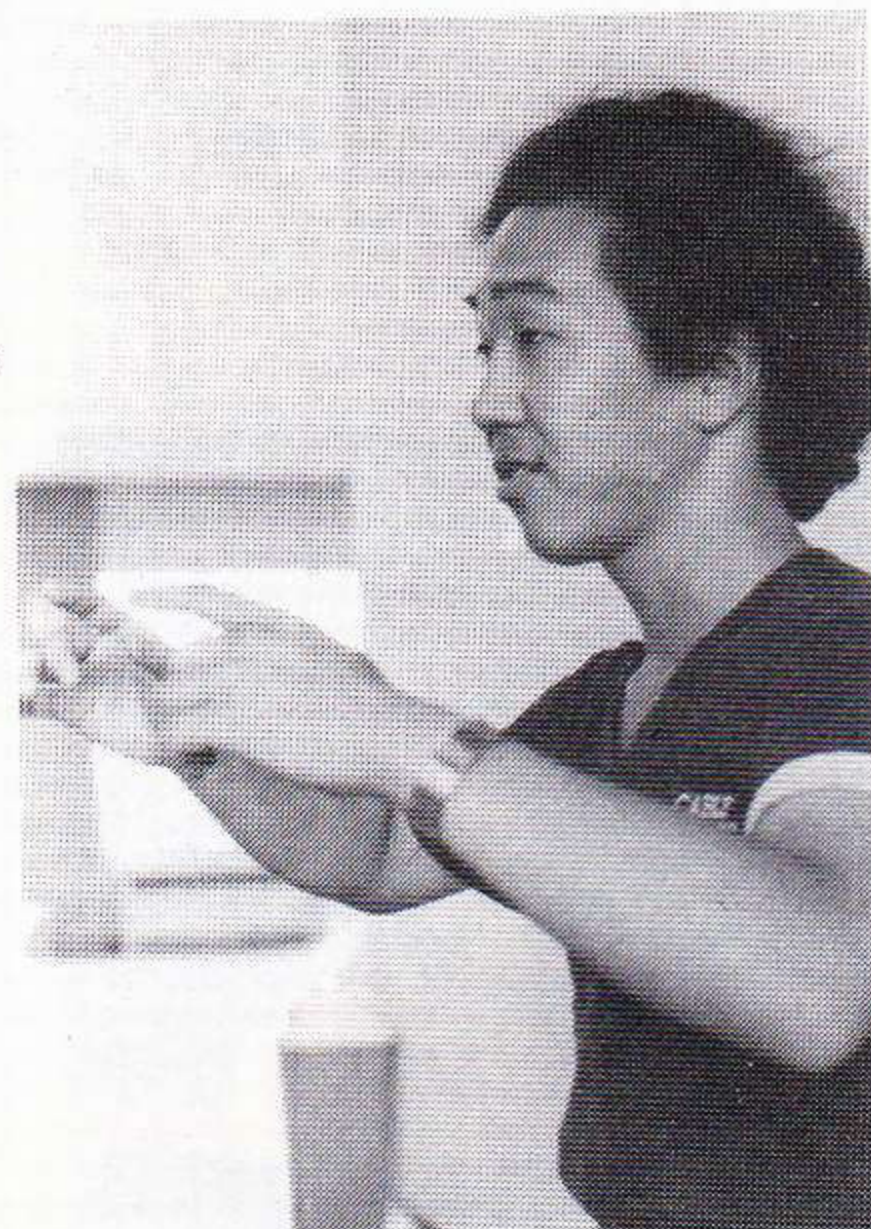
あれは八月、夏合宿最後の打ち上げの夜だった。もう部員の半分程は酔いつぶれ、かろうじて生き残った者たちも部屋へ戻ろうとした矢先。誰かがポツリとつぶやいた。「さっきから気になってたけど、Nがいてないなあ。」それがきっかけとなって、旅館の主人はたたき起こすわ、泊り客の部屋は尋ね回るわの大騒ぎ。自分が主人公になっているとは露知らず、当の本人は倉庫の中でオレンジジュースを枕に眠りこけていた。このできごとがいわゆる「部長謎の失踪事件」である。

夏休みも終わり、後期最初の練習中、思わず副指揮者のAは目眩を感じた。疲れのせいか、あれ程合宿で練習した「月光とピエロ」のできが、惨々な状態だったのだ。「ちょ、ちょっと休憩するわ。」そのかすれるような声には、明らかに不安と焦りが感じられた。また最初からやり直したがどうにもならず。青ざめるAの表情。がっくりと肩を落とし、「今日は早いけどこれで終わるわ。」様々な失敗を乗り越え、ファイトを燃やし歌い続ける我々です。



(指揮者) 石原 守
英語科4年

1959年、日本に生まれる。作年12月、清水脩作曲「黙示」を振り、彗星のようにデビュー。歌の内面にまで迫る解釈と正確な指揮及び温厚な人柄により部員の絶対的信頼を得ている。かわいいキューピーちゃん。



(副指揮者) 秋本 仁
デンマーク語科3年

1960年、下関に生まれる。高校時代より合唱に親しみ、広島修道高校男声合唱団の指揮者として活躍。グリーンクラブ入部以来、欧州遊学など数々の研鑽を積み、今宵「月光とピエロ」でデビュー。

今日のこの日まで



7月12日第1回合同練習(外大キャンパス)

忘れもしないあのムシ暑い日。初めのうちは遠慮がちに歌っていたのが、時とともにあたりかまわず大声で歌っていた、ということとは忘れられません。

7月～9月夏休みに入り夏合宿はじまる (外大Gの場合) 8月20日～27日ハチ北高原

三年前は「ピアノをぶっ壊す外大グリー」の名でハチ北旅館街では恐れられておったのですが、今年から新たなキャッチフレーズが加わりました。「壁をぶち抜く外大グリー」。来年からもうハチ北では合宿できません!それからもうひとつ。「部長のいなくなる外大グリー」。旅館の方には迷惑かけっぱなしの合宿でした。

(コール・ユニの場合) 8月24日～29日ハチ高原

涼しさにびっくり!!楽しい合宿が始まると思いきや、朝のハードな体操。近くで他大学のバンド演奏。筋肉痛、肩こり、睡眠不足の三拍子のユニは、本当不憫でした。

(ウヰルミナフラウエンコールの場合)

時間は夜の11時頃。場所とはあるY.H.のとある部屋。一日中ギッシリ詰ったスケジュールをこなした後、寝巻に着換えてからもなお練習に励む部員達。でもこのあとしっかりY.H.の人に「うるさい」ってしかられました。

8月30日 第2回合同練習 (外大キャンパス)

9月 6日 第3回合同練習 (帝塚山学院)

15日 第4回合同練習 (")

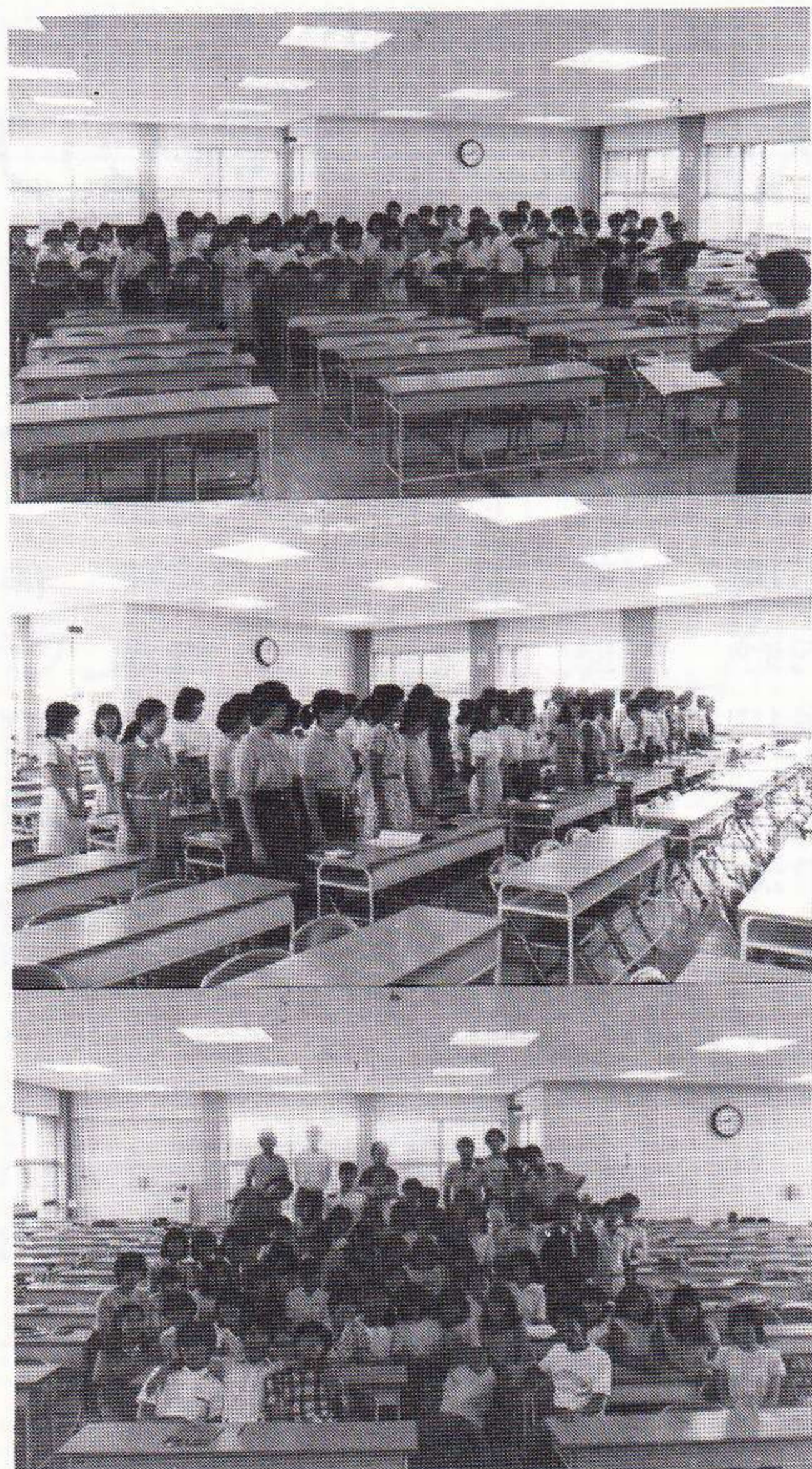
10月10日 第5回合同練習 (大阪女学院)

18日 第6回合同練習 (")

そして

10月21日いよいよ本番です

果たして日頃の成果が現われますか、
ごゆっくりお聞き下さいませ。



メンバー紹介



大阪女学院短期大学ウエルミナフラウエンコール

Soprano

○堀井 弘子 (2年)
 稲田 葉子 (")
 陶山 順子 (")
 朴 真理子 (1年)
 掛井 純恵 (")
 垣見早宜子 (")
 木成 恭子 (")
 嵯峨由香里 (")
 阪崎真佐子 (")

Mezzo Soprano

出雲真理子 (2年)
 ○城福 千春 (")
 大谷 早苗 (")
 原田 美樹 (1年)
 石丸 加奈 (")
 川地いずみ (")
 大石 玲子 (")
 清水 智子 (")
 下戸由起子 (")

Alto

伊藤 尚子 (2年)
 ○梶田万知代 (")
 上田 裕美 (")
 山口菜穂子 (")
 鎌田佳代子 (1年)
 河辺 恵真 (")
 小林美由紀 (")
 久徳 美樹 (")
 渡谷 淳子 (")

帝塚山学院大学コール・ユニ

Soprano

松井 道子 (E・4)
 ○三野 晶子 (J・3)
 大垣 幸子 (E・3)
 森実賀津子 (E・3)
 坂口 智美 (J・2)
 林 和代 (J・2)
 久芳 千里 (J・2)

Mezzo Soprano

西川 郁子 (J・4)
 藤原 淳子 (A・4)
 丸谷 尚子 (J・3)
 ○三好かおる (E・3)
 山田真智子 (E・3)
 井上 貴子 (J・2)
 花崎扶美子 (J・2)
 北村 匡子 (J・1)

Alto

小西 昭子 (J・4)
 春名 希美 (E・4)
 佐藤 弘美 (A・4)
 佐藤公仁代 (J・3)
 ○正岡 明美 (J・3)
 田中千香子 (J・2)
 永本 寿美 (J・1)
 松永貴美子 (E・1)

J：日本文学学科 E：英米文学学科 A：美学美術史学科

大阪外国語大学グリーンクラブ

Top Tenor

北村 照夫 (R5)
 円山 望 (IPh5)
 上田 茂夫 (E4)
 石原 守 (E4)
 ○内野 秀樹 (E4)
 保川 一治 (M3)
 大音 厚智 (S2)
 中津 孝司 (R2)
 宮田 悟夫 (C1)

Second Tenor

○永山 隆 (E4)
 入江 一隆 (F4)
 北野 忍 (IN4)
 米田 伸夫 (IN3)
 梅垣 誠 (E3)
 牧本 成俊 (S2)
 八杉 勝英 (IT2)
 小林 卓郎 (R1)

Baritone

正木 啓 (IPu5)
 佐戸 裕彰 (E4)
 ○松田 博安 (IT4)
 板倉 正幸 (IN2)
 藤井 哲 (IPu1)
 西山 恭介 (S1)
 勝本 昇 (K1)
 利守 和典 (M1)
 塩谷 茂樹 (M3)

Bass

秋田 泰弘 (B4)
 上原 聡 (E4)
 山内 清之 (F4)
 秋本 仁 (DM3)
 前田 哲男 (E3)
 ○山口 伸 (D3)
 谷口 善典 (E2)
 小西 吾郎 (S1)

○印はパートリーダー

ウランバートル留学中

R：ロシア語 E：英語 M：モンゴル語 S：イスパニア語 C：中国語 F：フランス語

IN：インドネシア語 B：ビルマ語 IT：イタリア語 DM：デンマーク語 K：朝鮮語 IPh：ヒンディ語

IPu：ウルドゥ語 D：ドイツ語

各団の定期演奏会

大阪女学院短期大学
ウエルミナフラウエンコール

1982.1.12(火)
郵便貯金会館ホール

帝塚山学院大学コール・ユニ

1981.12.17(木)
森ノ宮ピロティホール

大阪外国語大学グリークラブ

1981.12.11(金)
森ノ宮青少年会館

編集後記

何しろこんな仕事、編集委員一同、皆生まれて初めての経験。いわゆる初体験でありましたので、どこから手をつけて良いのやら、何をどうしたら良いのやら全く五里霧中。加えてG大のY氏というのが無類のぐうたら、原稿、写真を預かってもし机の中にしまい込み、いっこうに印刷所へ持って行こうとせず、築山誠晶堂印房、安松印刷所の方々には迷惑のかけっぱなしだったのですが、親身に御指導頂き、本当にありがとうございました。

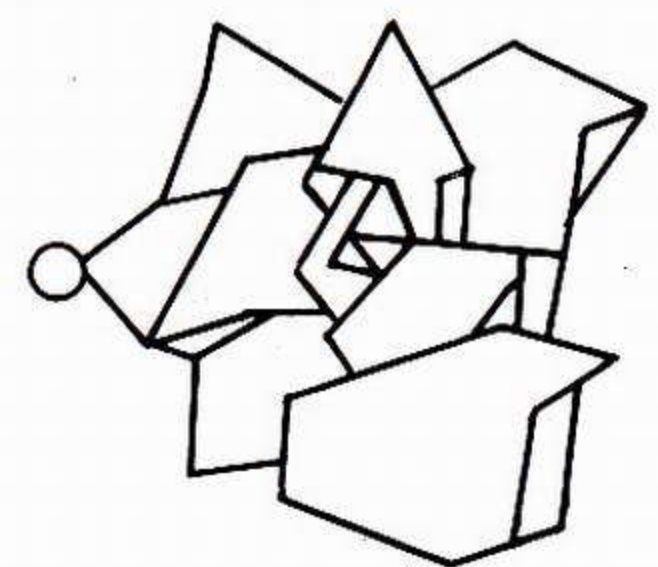
さて、こうして何とか出き上がりましたパンフレットですが、色々の不備な点もございましょうが、皆様の演奏鑑賞に少しでもお役に立てましたなら、幸いです。

(城福・上田・正岡・山口)

ローズ

カーウオツシュ 2F レストラン

1F ティラウンジ
バラ園



堺市榎元町6丁 TEL(0722)33-5084

祝ジョイントコンサート

ニシヤマ家具

TEL.075-601-7218

〒612 伏見区大手筋通両替町4丁目307

京阪伏見桃山駅下車
徒歩3分

奥丹波 柏原の宿 本場のぼたん鍋

日観連

三友楼

『栗せんべい・栗蜂蜜煮の製造元です。』

兵庫県氷上郡柏原町
電話 丹波柏原 07957 (2) 1110(代)

一着付 ヘヤーデザインから
お見合・家族記念写真
Executive Portraitまで—

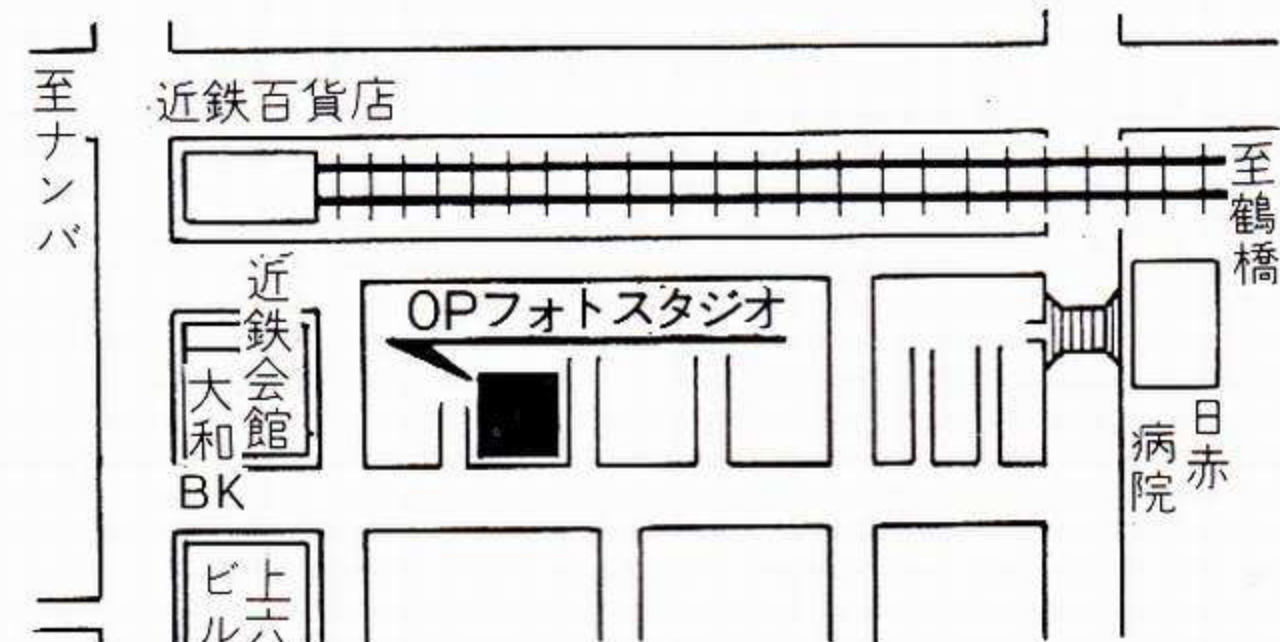
O.P. Photo Studio

TEL.(06) 771-3788

〒543

大阪市天王寺区
石ヶ辻25の6

TEL(代)
(06)771-3788



神と人によろこばれる キリスト教結婚式場

財団法人 大阪クリスチャンセンター

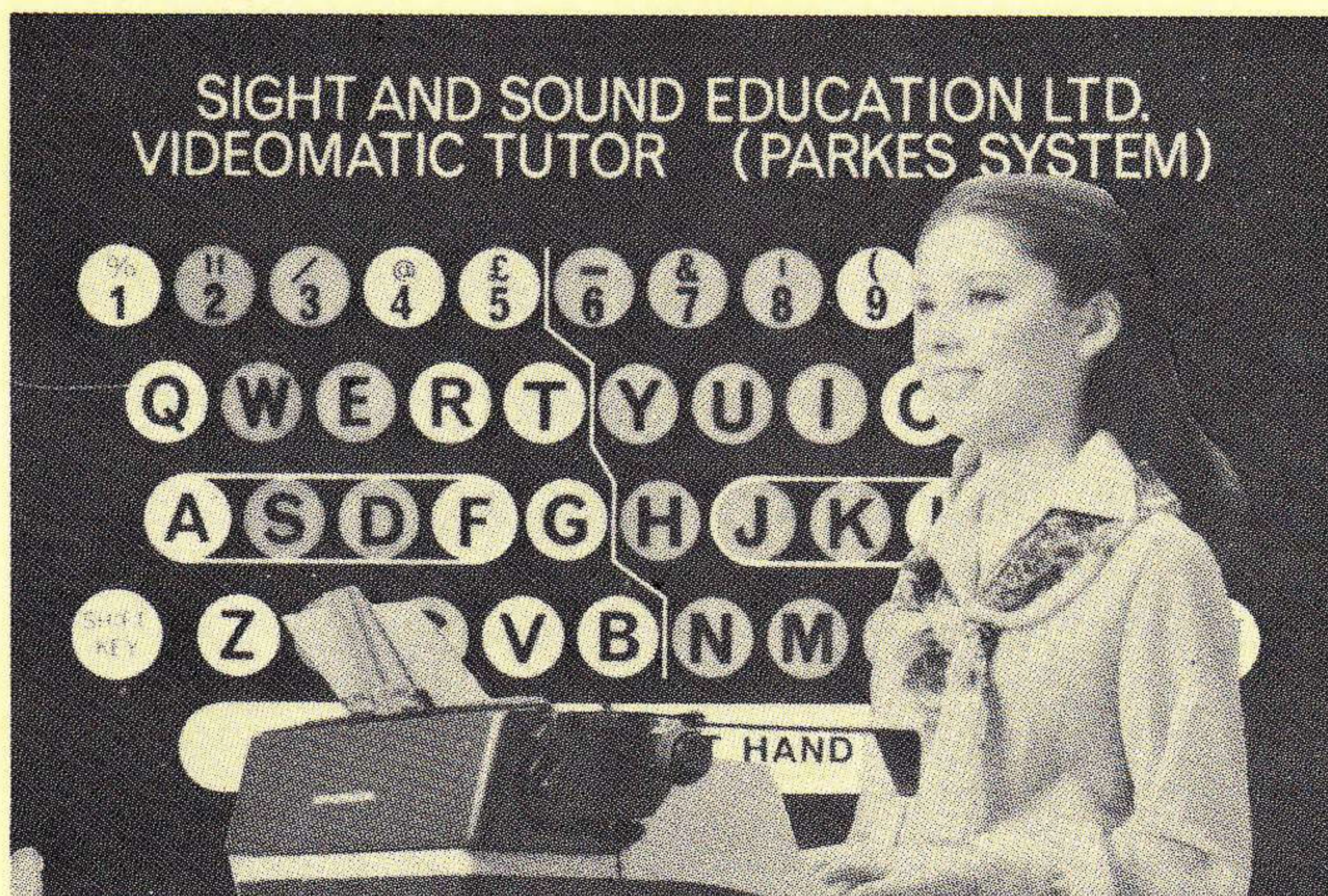
〒540 大阪市東区玉造2丁目26番47号

TEL (06) 762-7701

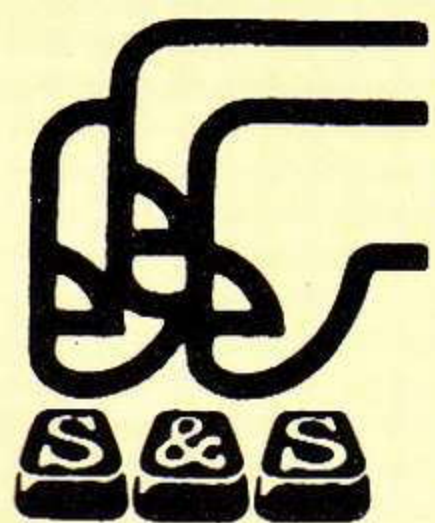
13
時
間
で
英
文
タ
イ
プ
が
打
て
ま
す

なぜでしょう

英文科の方、留学される方はもちろん、将来貿易関係・コンピュータ関係などに進まれる方——。いま、英文タイプの技術を生かす分野がどんどん広がっています。サイトアンドサウンドは英国からやって来た画期的な視聴覚システム。従来3～6カ月かかったタイプ訓練のイメージをぬり変えました。光と音の楽しいプログラム学習を1日1時間。わずか13時間で、知らず知らずの中に、あなたの指が英文タイプを覚えてしまいます。語学力・年齢は無関係。自習もまったく不要です。



●お好きな時間をお選びください。13：00～19：15まで1日6回の講習があります。毎日おつづけください。(土・日・祭は休み) ●コースは毎日始まります。●公開説明会にお気軽にお越しください。毎週土曜日10：30と13：30の2回

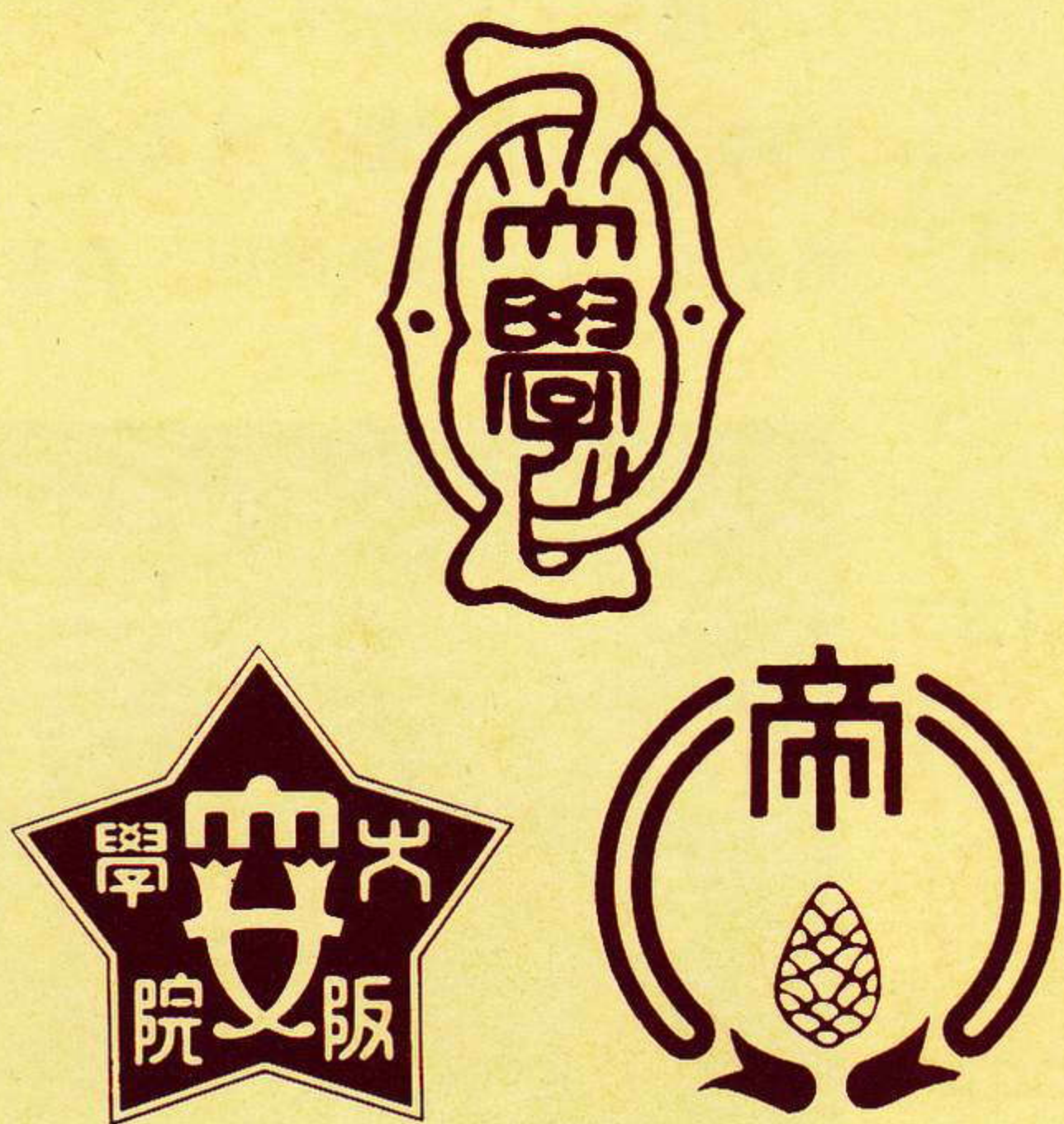


お問合わせ
資料請求は

PHONE(06) 315-8021

サイトアンドサウンド大阪センター

〒530 大阪市北区太融寺町8番8号 日進ビル3F



1981年10月21日(水)PM6:30開演 郵便貯金会館木一ル